

みずほマーケット・トピック(2016年10月28日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向 2. 来週の注目材料
誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は上昇する展開。週初24日、103円台後半でオープンしたドル/円相場は、一時週安値となる103.72円まで弱含む場面が見られるも、欧州株が堅調推移する中、クロス円の上昇に連られて、104円台に乗せた。その後、米10月マークイット製造業PMIが市場予想を大幅に上回ったことや米長期金利上昇を背景に、ドル/円は104円台前半まで上昇。25日は、リスク回避ムードが弱まりドル買い地合い優勢の中、ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁の「利上げのタイミングは12月が適切」との発言も後押ししてドル買いが強まると、ドル/円は104円台後半まで続伸した。だが、米長期金利低下や米10月消費者信頼感指数の市場予想を下回る結果を嫌気すると、ドル/円は104円台前半まで反落。26日は欧州債の利回り上昇に連られて米金利も上昇し、ドル/円は104円台後半まで強含む場面が見られるも、対ドルでのポンドの買戻しやNYダウ平均の下落に再び104円台前半まで押し戻された。だが27日には、月末の実需によるドル買いも散見される中、ドル/円は104円台後半まで上昇。その後も連日の欧州債利回りの上昇や年内米利上げ観測の高まりを背景にドル買いが強まり、ドル/円は一時週高値となる105.35円まで上伸。本日にかけてもドル/円は週高値となる105円台で底堅く推移している。
- ・今週のユーロ相場は、揉み合う展開。週初24日、1.08台後半でオープンしたユーロ/ドルは、米10月マークイット製造業PMIの良好な結果や米長期金利上昇を背景にドル買いが強まると弱含みに。25日は、ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁の発言やカーニー・イングランド銀行(BOE)総裁の議会証言を控えポンド/ドルが大幅下落すると、ユーロ/ドルは一時週安値となる1.0851まで下落した。しかし、その後はポンド/ドルが回復したことや独10月IFO企業景況指数の良好な結果を好感し1.09台前半まで反発。26日は、前日のカーニー総裁の発言を受けた欧州債利回りの上昇に後押しされ、ユーロ/ドルは一時週高値となる1.0947まで上昇。27日にかけても欧州債利回り上昇を背景にユーロ/ドルは1.09台前半で堅調に推移したが、その後は米金利上昇を受けたドル買いを背景に1.08台後半まで下落した。本日にかけても、ユーロ/ドルは1.09ちょうど近辺で動意に乏しい推移が継続している。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		10/21(Fri)	10/24(Mon)	10/25(Tue)	10/26(Wed)	10/27(Thu)	
ドル/円	東京9:00	104.13	103.92	104.34	104.17	104.57	
	High	104.20	104.32	104.87	104.62	105.35	
	Low	103.52	103.72	104.10	104.02	104.30	
	NY 17:00	103.85	104.18	104.23	104.48	105.28	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0930	1.0881	1.0874	1.0886	1.0909	
	High	1.0930	1.0899	1.0905	1.0947	1.0942	
	Low	1.0859	1.0860	1.0851	1.0875	1.0883	
	NY 17:00	1.0885	1.0882	1.0888	1.0908	1.0896	
ユーロ/円	東京9:00	113.80	113.08	113.42	113.38	114.06	
	High	113.86	113.58	113.89	114.19	114.86	
	Low	112.62	112.85	113.39	113.28	113.72	
	NY 17:00	113.02	113.39	113.49	113.95	114.68	
日経平均株価		17,184.59	17,234.42	17,365.25	17,391.84	17,336.42	
TOPIX		1,365.29	1,367.61	1,377.32	1,382.70	1,382.01	
NYダウ工業株30種平均		18,145.71	18,223.03	18,169.27	18,199.33	18,169.68	
NASDAQ		5,257.40	5,309.83	5,283.40	5,250.27	5,215.98	
日本10年債		-0.05%	-0.05%	-0.07%	-0.06%	-0.05%	
米国10年債		1.73%	1.76%	1.76%	1.79%	1.85%	
原油価格(WTI)		50.85	50.52	49.96	49.18	49.72	
金(NY)		1,267.70	1,263.70	1,273.60	1,266.60	1,269.50	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・ 米国では、11月1日(火)～2日(水)にかけてFOMCが開催される。前回(9月20～21日)会合後、多くのFRB高官から年内利上げに前向きな発言が見られており、市場においても年内利上げの織込みが進んでいる。もともと、8日(火)に予定されている米大統領選の投票日を控えて、会合前には市場が不安定になっている可能性が高く、FRBは市場の混乱を避けるために現状の政策金利を据え置くと予想する。なお、4日(金)には10月雇用統計が発表される。10月については、調査週にあたる10月第2週(12日を含む週)の新規失業者保険申請数が、趨勢を示す4週移動平均で25.2万人と9月(25.9万人)から小幅に減少した。そうした計数も踏まえ、市場では10月非農業部門雇用者数が前月比+16.9万人と9月(同+15.6万人)から僅かに拡大すると予想されている。このほか、10月31日(月)に9月個人消費・個人支出、9月PCEコアデフレーター、11月1日(火)に10月ISM製造業景気指数、2日(水)に10月ADP雇用統計、3日(木)に10月ISM非製造業景気指数の発表が予定されている。
- ・ 本邦では、10月31日(月)～11月1日(火)にかけて日銀の金融政策決定会合が開催される。前回の会合(9月20日～21日開催)において、日銀は総括的検証を行い、従来の「サプライズ型の政策運営」から決別した。また、長短金利操作付き量的・質的金融緩和(QQE)へと金融緩和の枠組みを変更し、量よりも金利を重視する姿勢に転じている。枠組みの変更は、量的緩和縮小(テーパリング)と受け止められ、円高圧力を生みかねなかったが、幸いにも米利上げ期待の高まりが注目されたことで、会合後は円安が進む展開となった。斯かる状況下、日銀が敢えて政策変更を行う必要性は乏しく、今回の会合では現状の金融政策が維持されると予想する。このほか、10月31日(月)に9月鉱工業生産指数(速報)、9月小売売上高の発表が予定されている。
- ・ 欧州では、11月3日(木)に英中銀(BOE)の金融政策委員会が開催される。前回会合(9月15日)では、8月4日の会合で決定した利下げ及び量的緩和の効果を見極めるため、金融政策の現状維持が決定された。依然として英国のEU離脱(Brexit)問題による景気下振れリスクは大きく、BOEが追加利下げに踏み切る可能性は残されている。但し、25日の議会証言において、カーニーBOE総裁は「ポンド安によるインフレ率加速が金融政策に影響する可能性がある」と述べ、インフレ率の動向を注視する必要性が高まったことから、追加利下げを急がない考えを示した。そのため、今回の会合では現状の金融政策が維持されるものと考えられる。このほか、10月31日にユーロ圏10月消費者物価指数(HICP、速報)、ユーロ圏7～9月期GDP(1次速報値)の発表が予定されている。

	本 邦	海 外
10月28日(金)	—	・米7～9月期雇用コスト ・米7～9月期GDP(1次速報) ・米10月ミシガン大学消費者マインド(確報)
31日(月)	・日銀金融政策決定会合(～11月1日) ・9月鉱工業生産(速報) ・9月商業販売統計 ・9月住宅着工	・米9月個人所得・消費 ・米10月シカゴ購買部協会景気指数 ・ユーロ圏7～9月期GDP(速報値)
11月1日(火)	・金融政策決定会合・展望(基本的見解) ・10月自動車販売台数	・米FOMC(～2日) ・米10月ISM製造業景気指数 ・米9月建設支出
2日(水)	・10月マネタリーベース	・米10月ADP雇用統計
3日(木)	休 場(文化の日)	・米7～9月期労働生産性 ・米10月ISM非製造業景気指数 ・米9月製造業新規受注 ・米9月耐久財受注(確報) ・ユーロ圏9月失業率
4日(金)	—	・米10月雇用統計 ・米9月貿易収支

【当面の主要行事日程(2016年11月～)】

ユーロ圏財務相理事会・EU経済・財務相理事会(11月7～8日、ブリュッセル)
 米大統領議会選挙(11月8日)
 日銀金融政策決定会合(12月19～20日、2017年1月30～31日、3月15～16日)
 米FOMC(12月13～14日、2017年1月31～2月1日、3月14～15日)
 ユーロ圏財務相理事会・EU経済・財務相理事会(11月7～8日、ブリュッセル)
 ECB理事会(12月8日、2017年1月19日、3月9日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔 (TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー (2016年11月)

月	火	水	木	金	週末
	1 日本 金融政策決定会合・展望 (基本的見解) 日本 自動車販売台数 (10月) 米国 FOMC (~ 2日) 米国 ISM製造業景気指数 (10月) 米国 建設支出 (9月)	2 日本 マネタリーベース (10月) 米国 ADP雇用統計 (10月)	3 日本 文化の日 米国 労働生産性 (速報、7～9月期) 米国 ISM非製造業景気指数 (10月) 米国 製造業新規受注 (9月) 米国 耐久財受注 (速報、9月) ユーロ圏 失業率 (9月)	4 米国 雇用統計 (10月) 米国 貿易収支 (9月)	
7 日本 金融政策決定会合議事要旨 (9月20～21日開催分) 日本 毎月勤労統計 (9月) 米国 労働市場情勢指数 (10月) 米国 消費者信用残高 (9月) ユーロ圏 財務相会合 (ブリュッセル) ドイツ 製造業受注 (9月)	8 日本 景気動向指数 (速報、9月) 米国 大統領選挙 ユーロ圏 EU経済・財務相理事会 (ブリュッセル) ドイツ 鉱工業生産 (9月) ドイツ 貿易収支 (9月)	9 日本 国際収支 (9月) 日本 貸出・預金動向 (10月) 日本 景気ウォッチャー調査 (10月) 日本 企業倒産件数 (10月) 米国 卸売売上高 (9月) 米国 卸売在庫 (速報、9月)	10 日本 金融政策決定会合による主な意見 (10月31～11月1日開催分) 日本 機械受注 (9月) 日本 マネースtock (10月) 米国 財政収支 (10月)	11 日本 第三次産業活動指数 (9月) 日本 国内企業物価 (10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、11月)	
14 日本 GDP(1次速報、7～9月期) 日本 鉱工業生産 (速報、9月) ユーロ圏 鉱工業生産 (速報、9月)	15 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数 (11月) 米国 小売売上高 (10月) 米国 企業在庫 (9月) ユーロ圏 貿易収支 (9月) ユーロ圏 GDP(速報、7～9月期) ドイツ ZEW景況指数 (11月) ドイツ GDP(速報、7～9月期)	16 米国 生産者物価 (10月) 米国 鉱工業生産 (10月) 米国 TICレポート (対内外対外証券投資、9月)	17 米国 住宅着工 (10月) 米国 消費者物価 (10月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数 (11月) ユーロ圏 消費者物価 (速報、10月)	18 米国 景気先行指数 (10月) ユーロ圏 経常収支 (9月)	
21 日本 貿易収支 (10月)	22 米国 中古住宅販売 (10月)	23 日本 勤労感謝の日 米国 耐久財受注 (速報、10月) 米国 新築住宅販売 (10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、11月) 米国 FOMC議事要旨 (11月1～2日開催分) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI (速報、11月)	24 日本 景気動向指数 (速報、9月) 日本 GDP(速報、7～9月期) ドイツ IFO企業景況指数 (11月)	25 日本 全国消費者物価 (10月) 日本 東京都都区部消費者物価 (11月) 日本 企業向けサービス価格 (10月) 米国 卸売在庫 (速報、10月)	
28	29 日本 労働力調査 (10月) 日本 家計調査 (10月) 日本 商業販売統計 (10月) 米国 GDP(2次速報、7～9月期) 米国 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格 (9月) 米国 消費者信頼感指数 (11月)	30 日本 鉱工業生産 (速報、10月) 日本 新設住宅着工 (10月) 米国 ADP雇用統計 (11月) 米国 個人消費・所得 (10月) 米国 PCEコアデフレーター (10月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数 (11月) 米国 ペンジュブック ユーロ圏 消費者物価 (速報、11月)			

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
 (資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー (2016年12月)

月	火	水	木	金	週末
			1 日本 法人企業統計(7～9月期) 日本 自動車販売台数(11月) 米国 建設支出(10月) 米国 ISM製造業景気指数(11月) ユーロ圏 失業率(10月)	2 日本 マネタリーベース(11月) 米国 雇用統計(11月)	4 イタリア 憲法改正の是非を問う国民投票
5 米国 労働市場情勢指数(11月) 米国 ISM非製造業景気指数(11月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)	6 日本 毎月勤労統計(10月) 米国 貿易収支(10月) 米国 製造業新規受注(10月) 米国 耐久財受注(確報、10月) ユーロ圏 EU・経済財務相理事会(ブリュッセル) ユーロ圏 GDP(確報、7～9月期) ドイツ 製造業受注(10月)	7 日本 景気動向指数(速報、10月) 米国 消費者信用残高(10月) ドイツ 鉱工業生産(10月)	8 日本 国際収支(10月) 日本 GDP(確報、7～9月期) 日本 貸出・預金動向(11月) 日本 景気ウォッチャー調査(11月) 日本 *企業倒産件数(11月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト)	9 日本 法人企業景気予測調査(10～12月期) 日本 マネーストック(11月) 米国 卸売売上高(10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、10月) ドイツ 貿易収支(10月) ドイツ 経常収支(10月)	
12 日本 機械受注(10月) 日本 国内企業物価(11月) 日本 第三次産業活動指数(10月) 米国 財政収支(11月)	13 米国 FOMC(～14日) ユーロ圏 ZEW景況調査(12月)	14 日本 日銀短観(11月調査) 日本 鉱工業生産(確報、10月) 日本 小売売上高(11月) 米国 生産者物価(11月) 米国 鉱工業生産(速報、11月) 米国 企業在庫(10月) ユーロ圏 鉱工業生産(10月)	15 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(12月) 米国 消費者物価(11月) 米国 経常収支(7～9月期) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(12月) 米国 米TIC(対内対外証券投資、10月) ユーロ圏 EU首脳会議(～16日、ブリュッセル) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(速報、12月)	16 米国 住宅着工(11月) 米国 中古住宅販売(11月) ユーロ圏 貿易収支(10月) ユーロ圏 消費者物価(確報、11月)	
19 日本 日銀金融政策決定会合(～20日) 日本 貿易収支(11月) ドイツ IFO企業景況指数(12月)	20 ユーロ圏 経常収支(10月)	21	22 米国 GDP(3次速報、7～9月期) 米国 耐久財受注(速報、11月) 米国 個人所得・消費(11月) 米国 景気先行指数(11月) 米国 PCEコアデフレーター(11月)	23 日本 天皇誕生日 米国 新築住宅販売(11月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、12月)	
26 日本 日銀金融政策決定会合議事要旨(10月31～11月1日開催分) 日本 企業向けサービス価格(11月) 日本 景気動向指数(確報、10月)	27 日本 労働力調査(11月) 日本 家計調査(11月) 日本 全国消費者物価(11月) 日本 東京都区部消費者物価(12月) 日本 住宅着工(11月) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(10月) 米国 消費者信頼感指数(12月)	28 日本 鉱工業生産(速報、11月) 日本 商業販売統計(11月)	29 日本 金融政策決定会合による主な意見(12月19～20日開催分)	30 米国 シカゴ購買部協会景気指数(12月)	

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2016年10月27日	ドル高相場の調整が進まない背景～実効相場の観点から～
2016年10月26日	円高シナリオにまつわるリスクの整理
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年9月分)
2016年10月25日	日銀金融政策決定会合プレビュー～もう表舞台に立ちたくない～
2016年10月24日	ECB理事会を終えて～ECB版総括的検証の行方～
2016年10月21日	週末版
2016年10月20日	最近の対内・対外証券投資動向と為替について
2016年10月19日	英ポンド急落の読み方～通貨安戦争の勝ち組～
2016年10月18日	英ポンド急落の読み方～通貨安戦争の勝ち組～
2016年10月17日	米為替政策報告書を受けて～ドル高忌避変わらず～
2016年10月14日	週末版
2016年10月7日	週末版
2016年10月5日	ECBのテーバリング観測～予想すべきは真逆の方向～
2016年10月4日	世界にとってのテールリスクとなる「欧州の潔癖主義」
2016年10月3日	外貨準備構成通貨の現状(2016年6月末時点)
2016年9月30日	週末版
2016年9月27日	ユーロ圏の与信、物価、為替に関する状況整理
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年8月分)
2016年9月26日	ハードルが上がった日銀の追加緩和
2016年9月23日	週末版(日米金融政策決定会合を終えて～確度が強まる円高見通し～)
2016年9月20日	米大統領選挙と為替相場に対する考え方について
2016年9月16日	週末版(「日銀相場」の活かし方～断ち切られた株と為替のリンク～)
2016年9月15日	G4通貨の調整状況～懸念されるドル安不足～
2016年9月14日	日銀会合プレビュー～「量との決別、金利への転進」～
2016年9月13日	ブレイナード講演を終えて～ハト派の矜持～
2016年9月12日	米利上げに怯える株式市場～「ドル高の罠」再び～
2016年9月9日	週末版(ECB理事会を終えて～注目はバロメーター修正の「次の論点」へ～)
2016年9月8日	円相場の基礎的需給環境～2016年7月～
2016年9月6日	ECB理事会プレビュー～「お茶を濁す」方法～
2016年9月5日	足許の円安の本質～「4か月前の円安」と同質～
2016年9月2日	週末版
2016年8月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年7月分)
2016年8月29日	イエレン議長講演を受けて～「短期は強気、長期は弱気」～
2016年8月26日	週末版(ドル高相場の読み方、考え方～何を、どう見ておくべきか～)
2016年8月24日	最近のユーロ相場の状況について
2016年8月23日	黒田日銀総裁インタビューを受けて
2016年8月22日	ECB理事会議事要旨(7月20～21日開催分)
2016年8月19日	週末版(円安・円高の正しい評価とは～交易条件、実質所得、ISバランスなどの観点から～)
2016年8月18日	FOMC議事要旨(7月26～27日開催分)～自信喪失?～
2016年8月17日	「円買い」ではなく「ドル売り」に主導された円高
2016年8月16日	リスクシナリオとしての世界経済の底打ち機運
2016年8月15日	本邦4～6月期GDP～実質所得環境は改善中～
2016年8月12日	週末版(人民元ショックから1年～「国際金融のトリレンマ」に照らしたおさらい)
2016年8月10日	円相場の基礎的需給環境～2016年上半期～
2016年8月5日	週末版(総括的検証で問われるべきは「戦術」ではなく「戦略」の妥当性～「失敗の本質」は何か～)
2016年8月4日	イタリア問題Q&A～Italeaveまで至るか否か～
2016年8月3日	今一度確認しておきたい米利上げとドル高の意味
2016年8月2日	欧州銀行に対するストレステスト～残るイタリアへの不安～
2016年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて(7月28～29日開催分)
2016年7月29日	週末版
2016年7月28日	FOMCを終えて(7月26～27日開催分)
2016年7月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年6月分)
2016年7月22日	週末版(ECB理事会を終えて～「嵐」の前の静けさ～)
2016年7月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー(7月28～29日開催分)
2016年7月20日	明らかに開始したBrexitの下押し圧力について
2016年7月19日	「空気を読まない」EU政策当局への危機感
2016年7月15日	週末版(ECB理事会プレビュー～現状維持も「次の一手」は近い～)
2016年7月14日	危う過ぎるヘリマネ議論～円の信認を「叩き壊す」政策～
2016年7月13日	ドル/円相場、急騰の解釈～「木」ではなく「森」を見るべき～
2016年7月11日	米6月雇用統計～いよいよ論議が漂い始めた米利上げ～
2016年7月8日	週末版(円相場の基礎的需給環境について～頭打ちの経常黒字～)
2016年7月7日	FOMC議事要旨～崩れ始めるファイティングポーズ～
2016年7月4日	経験則に学ぶドル/円相場の「波」～簡単には終わらず～
2016年7月1日	週末版(BrexitにEUの責任はないのか?～ユーロ圏を「監獄」にしないために～)
2016年6月27日	Brexit後のリスク要因再点検～トランプリスクとFRB緩和リスク～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年5月分)
2016年6月24日	週末版
2016年6月23日	TLTRO プレビュー～6月23日、もう1つの論点～
2016年6月21日	英国のEU離脱(Brexit)とユーロ相場見通し
2016年6月20日	英議員殺害で思い返されるアンナ・リンド事件
2016年6月17日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて～「No」と言う勇氣と奇襲の「ツケ」～)
2016年6月16日	FOMCを終えて～「利上げの有無」を超えて～
2016年6月15日	英国のEU離脱(Brexit)を巡るQ&A
2016年6月14日	ドル/円相場、水準感の整理～攻守交代の時～
2016年6月10日	週末版(7月以降、ECBは現状維持を貫けるか～戻らないHICPIに苦しめられる公算～)
2016年6月9日	日銀金融政策決定会合プレビュー
2016年6月8日	円相場の基礎的需給環境について
2016年6月7日	イエレンFRB議長講演と米雇用情勢について
2016年6月6日	米5月雇用統計～もはや正常化以前の問題か～
2016年6月3日	週末版(ECB理事会を終えて～2周年を迎えたマイナス金利～)
2016年6月2日	消費増税先送りと「悪い円安」論について
2016年6月1日	年内「最後の円安」に備える時か
2016年5月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年4月分)
2016年5月27日	週末版(本日のトピック:ECB理事会プレビュー～目玉政策を控えて現状維持～)
2016年5月26日	投機ポジションにおける「ドル買い」の正体
2016年5月25日	米通貨・金融政策の捻じれ～「ドル高の罠」から抜けられず～
2016年5月23日	仙台G7を終えて～論点変わらず見通しに影響なし～
2016年5月20日	週末版
2016年5月18日	本邦1～3月期GDP～「不都合な結果」とはならず～
2016年5月17日	ECBのバランスシートとユーロ相場の関係などについて
2016年5月16日	消費増税先送り報道と市場への影響などについて